

普及活動情勢報告（平成31年1月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

地域食材を活用した商品開発に向けて・・・6次産業化支援チーム会黒潮町「かきせ」・・・



1月8日、黒潮町集落活動センター「かきせ」（旧馬荷小学校）にて、6次産業化普及活動推進事業を活用し、同センター「かきせ」のメンバーが地域食材を活用して商品づくりを行いました。

試作品づくりでは、前回の試作品を食味した後のメンバーの意見やアドバイザーの意見等を参考に、改良に向けた助言や原価計算の仕方について情報提供を行いました。

農業改良普及課では、今後も、アドバイザーと連携をしながら、地域資源の活用方法や試作品づくり等、商品開発に向けて支援を行います。

クリの剪定は葉が出た後を想像する力が大事！・・・幡多地区営農改善協議会クリ剪定講習会・・・



12月19日、四万十市下家地地区で、若手営農指導員向けのクリ剪定講習会を行いました。

農業改良普及課の職員が講師となって結果母枝の見分け方や夏期の日当たりが十分かどうかなどの判断基準を説明した後、初心者には木に登って、講師が指示した位置で枝を切る実習をしました。普段は剪定ハサミを握る機会の少ない営農指導員も参加し、危なかった手つきながら無事剪定を終わりました。

農業改良普及課は、今後も営農指導員の資質向上に向けた取り組みを行っていきます。

剪定をしっかりと行って、安定した収穫を！・・・西土佐道の駅出荷者剪定講習会・・・



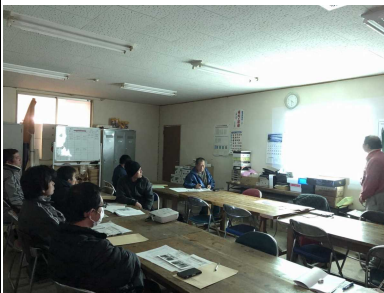
12月21日、四万十市西土佐地区の道の駅「よって西土佐」に出荷している生産者向けに、落葉果樹の剪定及び栽培講習会を行いました。以前から関心が高く、開催希望があったテーマで、20人の参加者は最後まで熱心に講習を受けていました。

農業改良普及課は柿の見本枝を持ち込み、実際の剪定位置を示しながら説明しました。また、出荷者の生産履歴の書き方についても説明しました。

農業改良普及課は、今後も生産者の要望に合わせた内容で、定期的に栽培講習会を開催する予定です。

エコシステム栽培を続けよう！

・・・JA高知はた中村支所露地野菜部オクラ反省会・・・



12月21日、JA高知はた中村支所選果場にてオクラ反省会が開催され、6名の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、ソルガムを用いた障壁作物の効果や土着天敵を利用した防除試験報告、管内の市場トラブルを示し、エコシステム栽培の積極的な実施を推進しました。試験ほ場の生産者が参加者からソルガムの生育についての質問に回答する様子や「来年もやってみたい」と話すなど関心を高めることが出来ました。また、「市場トラブルは地域全員が出荷停止の可能性はある。気をつけないといけない。」と話していました。

農業改良普及課は、引き続き部会活動を通じて市場トラブルの注意喚起やソルガムの利用など支援していきます。

加工・業務用野菜の推進！

・・・加工・業務用野菜産地化プロジェクト作業部会の開催・・・



1月11日、四万十市入田、田野川甲の現地ほ場で加工・業務用野菜産地化プロジェクト作業部会の現地検討会が開催され生産者や関係機関21名が参加しました。

現地ほ場では、今年度、幡多地域の集落営農法人が実証に取り組んでいる加工・業務用キャベツの生育状況の確認を行いました。キャベツの生育は順調で、1月中旬から出荷が始まる予定です。併せて、参加した関係者間での情報交換や出荷形態、出荷時期について意見交換が熱心に行われました。

農業改良普及課は、収穫が終了するまで、加工・業務用キャベツの栽培指導を行っていきます。

キュウリ現地検討会

・・・JA高知はた中村支所キュウリ部会・・・



1月18日、四万十市の生産者ほ場で種苗会社を招いた現地検討会が行われ、生産者や関係機関8名が参加しました。

種苗会社からは栽培時期に応じた管理のポイントについて説明があり、生産者ほ場の現在の状態における改善点について検討が行われました。また、農業改良普及課からは生産者ほ場でやっている仕立て方法試験調査の途中経過について説明を行いました。

農業改良普及課は、今後も仕立て方法試験調査の経過報告を行い、栽培技術の向上のための支援を行っていきます。